

## 麻布大学同窓会京都府支部平成23・24年度通常総会の概要

平成23年10月23日（日）、四条木屋町の鴨川や東山の絶景を望む、西村勝義先生（昭和41年卒業）の奥様が運営されている「アトリエ西村」において、平成23・24年度京都府支部通常総会を28名（うち委任状17名）の会員の出席により開催しました。

当支部では総会開催を2年に一度としており、今回は平成21年10月以来の総会となりました。総会開催にあたり、物故会員並びに東日本大震災で犠牲になられた方々に対して全員で黙祷を捧げ、議事に入りました。

総会は、桑原次郎支部長（昭和33年卒）の挨拶及び来賓の麻布大学獣医学部病理学研究室宇根有美教授を紹介の後、議長に渡邊英史先生（昭和56年卒）を選出、議事に入りました。議事については、21・22年度事業報告、収支決算、23・24年度事業計画、収支予算等原案通り承認され、役員改選についても桑原支部長他役員が再任されました。

総会に続きセミナーを開催し、御来賓の宇根有美先生からアリーナの建築、講義の内容の変化や学生からの教師評価、麻布大学博物館（ミュージアム）構想など変化していく大学の近況とともに先生の御専門であるエキゾチックアニマルや野生動物の感染症の研究について大変興味深い御講演を頂きました。また、安藤明典先生（昭和60年卒）から食肉検査における業務の現状について報告を受け、会員からは両先生の御講演について活発な質疑があり、予定時間を延長するほど有意義なセミナーとなりました。

総会終了後、宇根先生にも出席を頂き懇親会を開催。御夫婦で出席いただいた塩田正先生（昭和38年卒）の乾杯の音頭で宴に入りました。懇親会には病氣御療養中の桑原修一先生（昭和46年卒）も顔を見せていただき、「アトリエ西村」のすばらしいお料理や京都伏見の美味しいお酒を頂きながら、各自近況や情報交換など時間も忘れ交流を深めた懇親会となりました。

京都府支部では今後もセミナーの開催等学術向上にもさらに力を入れ、若い会員の入会や多くの同窓生が参加できる活動を行っていきたいと考えています。

（京都府支部事務局 森下賀之 昭和54年卒）

